

会報

第104号

平成24年2月3日

新潟県特別支援教育研究会事務局
新潟市中央区白山浦1-207-3
新潟市立鏡淵小学校内
Tel:025(265)4111 Fax:025(265)4112
URL: http://www.niigata-net.or.jp/kentokushien/
E-mail: tokusi@niigata-net.or.jp
発行: 文久堂

特別支援教育の

さらなる充実を



新潟県特別支援教育研究会
副会長 熊木 泰広

特別支援教育の理念について、平成十九年四月に文部科学省初等中等教育局長名で出された「特別支援教育の推進について（通知）」には、以下のように記されています。「特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々

の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在および将来の社会にとって重要な意味を持っている」

特別支援教育のこの理念は、人が人としてあるべき姿を述べているものでもありと考えます。この理念を、全ての人々が共有し、たとえ小さくともその人その人ができることを誠実に実行していくことこそ、全ての人々が豊かな生活を送ることにつながると確信します。そのためにも、まず、私たち会員一人一人が特別支援教育についてさらに研修を積むとともに、より多くの人たちに特別支援教育の理念を理解していただくよう努めていくことが不可欠です。

また、今年度、新潟県における公立小中学校の特別支援学級在籍児童生徒数が四千人を、特別支援学級数が一千を越えた中、人材養成、人材確保、資質向上等の課題も見られ、その解決も急がれています。

その機会の一つが、各地区で行われている研究会であり、知的障害部をはじめ四つの専門部が行っている研修会です。また、当研究会以外にも各地区、市町村での特別支援教育に関する研修会が開催されています。これらの研究会、研修会には会員だけではなく、保護者、保育園・幼稚園、高校、さらには、福祉団体、教育委員会等の関係機関からも多くの方の参加を得ています。

今年度の当研究会の主たる事業はほぼ終了しましたが、それぞれの研究会、研修会で得たものをどのように生かし、子どもたちの成長に結びつけるかが、今後の私たちの大きな課題であることを強く意識していきたいものです。

平成二十三年度

主な事業報告

〈理事会・評議員会〉

第一回理事会・評議員会（5月25日）

第二回理事会（2月3日）

〈研究大会〉

・上越地区・上越北部大会

（8月10日・リージョンプラザ他 約500名参加）

・中越地区・長岡大会

（11月25日・長岡市教育センター他 約200名参加）

・下越地区・阿賀町大会

（11月8日・阿賀町公民会他 約200名参加）

〈研究部研究会〉

・知的障害部

（8月10日 白根学習館 170名参加）

・自閉症・情緒障害部

（8月4日 新潟市万代市民会館 208名参加）

・言語・難聴部

（8月2日 長岡市立図書館 102名参加）

〈全特連関係〉

・関プロ神奈川大会／発表2名司会2名派遣

（8月9日 グリーンホール相模原他）

・全国大会岐阜大会

（10月27日、28日 長良川国際会議場他）

〈会報〉

・会報103号発行（7月）

・会報104号発行（2月）

平成23年度 各地区大会の報告

上越地区・上越北部大会

大会主題『一人一人に応じた途切れない指導支援をめざした連携のあり方』の大会主題のもと、地区内から幼児、小・中・特別支援学校、高校の職員、保護者等、五百名を超える参加がありました。分科会は、「就学に関わる幼・保・小・家庭、関係機関の連携」「通常の学級と通級指導教室等との連携」「通常の学級と特別支援学級との連携」「個別の教育支援計画に基づく連携」「進学における支援体制と連携」「社会参加に向けた学校、家庭、地域、関係機関との連携」の六つで行われました。会員や関係者の方からの話題提供をもとに様々な連携の在り方について協議がなされ、最後にアドバイザーから貴重な助言をいただきました。

また、全体会では県教育庁義務教育課特別支援教育推進室副参事、中島秀晴様から「本県における特別支援教育の現状と課題」出口から足元を考える」というテーマでのご指導をいただきました。

講演会は、「豊かな人間関係を活かした支援に向けて」十のチェックと四つのお約束」という演題で新潟大学准教授、有川宏幸様からご講演をいただき、連携の在り方や協働について多くの示唆をいただきました。

本大会は、一人一人に応じた途切れない指導・支援の実現を図るために、学校・家庭・地域、福祉・医療機関等が、どのように情報を共有し連携していけばよいかにつ



いて、貴重な研修を深めるいい機会となりました。
 (事務局
 上越市立
 春日新田小学校)



中越地区・長岡大会

今年度は『地域の中で豊かに生きる力をはぐくもう』キャリア教育の視点から』を大会主題とし、講演会と分科会には、長岡市内の教職員・保護者を中心に約二百名の参加がありました。六分科会の参加者は次のとおりです。

- ① 知的障害、自閉症・情緒障害 (小学校) : 四十八名
 - ② 知的障害、自閉症・情緒障害 (中学校) : 四十名
 - ③ 言語障害、難聴 : 二十一名
 - ④ 病虚弱肢体不自由、重複障害 : 十名
 - ⑤ 発達障害、通級 : 三十一名
 - ⑥ 育成会、保護者の会 : 十六名
- 全体会では、県教育庁義務教育課特別支援教育推進室指導主事、今井聡己様より、新潟県における特別支援教育の現状や課題、今後の動向について指導をいただきました。上越教育大学教授、加藤哲文様からは「学

校教育を地域社会につなげるために」という演題で、トップダウン型(障害者の能力や技能を用いて本人の目標達成を目指す)支援について、具体的に分かりやすい講演をいただきました。

各分科会では、学校の担当者や保護者から話題提供をしていただきました。参加者からは、それぞれの話題に沿った意見が多く出され、活発な意見交換が行われました。また、指導者の先生方からも適切な指導を受けることができました。これからの特別支援教育の在り方について、地域との連携の大切さを再認識できた大会でした。

(事務局 長岡市立大島小学校)



下越地区・阿賀町大会

本年度は、大会主題を『一人一人が輝く支援の在り方を求めて』とし、全体会と講演会、分科会を行いました。大会当日は、下越各地から、紅葉の阿賀町に約二百名の方々が参加され、とても盛況な会となりました。遠路お出でいただき誠にありがとうございました。

全体会では、阿賀町教育委員会教育長の

波田野正博様よりご祝辞をいただき、その後、県教育庁義務教育課特別支援教育推進室指導主事の高橋淳様から、「本県における特別支援教育の現状と課題及び今後の動向」というテーマで全体指導をいただきました。更に、新潟大学教授長澤正樹様から「通常学級における特別支援教育の実際」学習のユニバーサルデザインという考え方を」という演題で講演を行っていただきました。

全体指導も講演会も、特別支援教育の今後の課題解決について方向が示され、大変示唆に富み参会者のニーズに応えるものでした。

後半は、六つの分科会に分かれ、実践発表をもとに協議が行われました。

本年度、特別支援教育の課題と参会者のニーズに応えるために分科会の内容を変えて分科会運営を行ったこともあり、参会者の課題意識も高く熱心な協議が行われました。最後に、各分科



会ごとに指導者から的確なご指導をいただき、充実した分科会を終えることができました。

研究会に携わった多くの皆様に深く感謝申し上げます。
(事務局 東蒲原郡阿賀町立上条小学校)

全特連 報告

関プロ・神奈川大会 (県内派遣：発表者2名・司会者2名・本部役員3名)

提案発表
「個別の教育支援・支援シート」 長岡市立養護学校 諸橋 忍教諭
「自閉症・情緒障害学級での支援のあり方」 加茂市立若宮中学校 山本満紀子教諭

関プロ・神奈川大会に参加して

午後の分科会で、私は、「個別の移行支援計画の作成の仕方と実践例」というテーマで、昨年度末の実践をもとにお話をさせていただきました。

小学校中学校の特別支援学級担当者の参加者が多かったこともあり、つながりという部分で、就学前から小学校へ、または小学校から中学校へという時期の引き継ぎ等に関するご意見を多数いただきました。

また他県での、教育支援計画の形式や活用方法などもお聞きすることができました。

後半の発表者、川崎市立御幸中学校総括教諭渡辺郁子先生の発表では、川崎市におけるサポートノートと呼ばれる個別の教育支援計画の取組の様子をお聞きしました。実際に活用されている支援シートや実践例などが提示され、参考にさせていただきました。

今回の発表、分科会参加を通して、本校の個別の教育支援計画および移行支援計画についての課題も、自分なりに感じることができました。今後関係分掌等と連携を図りながら、課題解決できるような、取り組んでいきたいと思えます。

今回の大会参加において、誰かには何かを伝えるというよりは、自分自身が勉強させていたただく機会ととらえて臨みました。その目標が達成でき、大変充実した研修でした。

(長岡市立養護学校教諭 諸橋 忍)

全特連全国大会・岐阜大会 (本部役員4名派遣)

全特連岐阜大会報告

快晴に恵まれ、岐阜城眼下の会場に千人を超す参加者が集う大会であった。全体会では、全特連研究奨励賞受賞の山形県立鶴岡養護学校の生活単元学習「つるよう城へようこそ」が報告された。主体的に遊ぶための活動、場の設定、遊具・補助具、教師のかかわりなどの授業改善に取り組み、子どもたちの共通の遊び「つるよう城」で友情あふれる交流の姿が公開された。



発表は担当教諭と児童、保護者が壇上に登場して日頃の教育の連携の強さ、信頼関係の強さが伝わってきた。担当教諭と話す機会があり、自信をもち謙虚に取り組んでいく話に感動した。隣接県なので訪問したくなる教育課程の話であった。

第二分科会「早期教育と幼保小の連携」の市立岐阜東幼稚園会場に参加した。市内四園に、「ことばの教室」の職員が配当され、園児の早期の教育支援が充実して、子ども

の思いを中心に、授業が公開された。園外からの通級も多く、保護者との協力関係も良好な運営がなされていた。早期支援体制の充実は今後も重要課題である。



(新発田市立外ヶ輪小学校長 東山泰生)

23年度 各研修部の研修の成果

知的障害部

有限会社「あいだ」代表取締役 間一彰様と営業部主任の安中康修様よりお越しいただき、「障害者雇用への想い」と題して、障害のある方の積極的な社会参加を目指した具体的な取組についてご講演いただきました。

実際に働いておられる方の映像を交え、受け入れのきっかけや雇用のメリット等わかりやすい内容で現場の雇い主側の声を聞くことができた。

また、参加者から事前にいただいたアンケートをもとに、質疑応答の場を設定し、とても有意義な研修会となった。

(事務局 新潟市立新津第一小学校)

自閉症・情緒障害部

山形県の鶴岡市の取組をシンポジウム形式でお話しいただいた。山形大学地域教育文化学部教授の三浦光哉様に基調講演をいただき、鶴岡市教育委員会学校教育課指導係長の土井浩貴様、鶴岡市特別支援教育スペシャルコーディネーターの松本美智子教諭より話題提供をいただいた。

成果としては、いじめ・不登校の減少、学力の向上など大きな成果を上げている鶴岡市独自の特別支援教育を学ぶことができた。

参会者の見識を広げると共に実践意欲を高める有意義な研修会となった。

(事務局 長岡市立千手小学校)

言語・難聴部

東京学芸大学教授の太伴潔様より「言語・コミュニケーション能力を高める指導方法」と題して具体的な例をもとにご講演をいただいた。言葉の発達の流れを理解した上でその子の言語の実態を見定め、評価を行う重要性や、特別支援教育となり対象が広がったことで、構音障害や吃音だけでなく「話す・聞く」ことに困難さがある子への対応が求められていること、その子の何を伸ばしていくのかを指導目標として明確に設定し、適切な指導内容と方法を選択できる専門性を身に付けること、等々を再認識することができた。

(事務局 新潟市立万代長嶺小学校)



肢体不自由・病虚弱障害部

H24年2月中旬に、研修冊子「えがお」の発行を予定している。

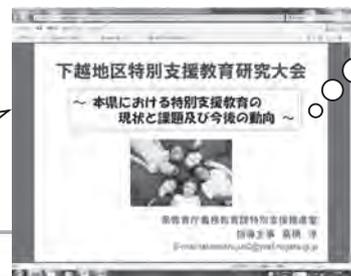
内容は日頃の実践紹介で、教科指導、自立活動、日常生活の指導、生活単元学習の工夫、手作り教材や教具の紹介、年間指導計画、個別指導計画、院内学級の実践などを予定している。

(事務局 見附市立今町小学校)

県特支研のHPを開いてみると・・・

学校名	所在地	電話番号	FAX番号
県立野澤東中学校	〒950-0322 新潟市中央区山王町4-1	0252-240224	0252-240226
県立新潟東部高等学校	〒951-8581 上越市大和4-17	0257-223332	0257-223330
県立新潟南高等学校	〒950-0329 新潟市東区中央3-1	0252-233369	0252-233366
県立長岡東高等学校	〒950-0330 新潟市中央区2-1-13	0252-273307	0252-273308
県立三条東高等学校	〒950-0110 新潟市江南区北山字西1310	0252-210017	0252-210004
県立新潟県立特別支援学校	〒950-0540 新潟市西蒲区亀山新田1番地	0252-212569	0252-212113
県立新潟県立特別支援学校	〒950-0240 新潟市中央区東2-147番地	0252-223333	0252-223332

県内の地区大会情報、県外の大会で参加された実践情報、さらには県の特別支援教育の情報などもあり・・・



下越大会のこのお話、聞きたかったのよね！

県内の特別支援学校や関連機関のHPをすぐに見られるページや



更新は随時行っています。どうぞご覧ください。

* 県特支研 だけで検索できます。